

その他

近畿中国森林管理局管内林業大学校等協議会設置要綱（改正案）

制 定 令和元年6月10日
最終改正 令和2年11月〇日

（目的及び設置）

第1条 林業の成長産業化の実現には、林業従事者の確保は喫緊かつ重要な課題であることから、近畿中国森林管理局管内の林業大学校等の担い手育成機関と近畿中国森林管理局が管内の人材育成についての水平連携を強化することを目的として、近畿中国森林管理局管内林業大学校等協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（協議事項）

第2条 協議会は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 林業の担い手育成に関する取組の情報共有、連携の進め方
- (2) その他協議会の運営に関し必要な事項

（構成）

第3条 協議会は、別紙に掲げる者で構成する。

- 2 協議会には必要に応じ、林野庁及び地方公共団体の職員、林業事業者の代表者等の関係者を参加させることができる。

（開催）

第4条 協議会は、原則として年1回開催する。

（庶務）

第5条 協議会の庶務は、近畿中国森林管理局企画調整課において処理する。

附則

- 1 この要綱は、令和元年6月10日から施行する。

(別紙)

近畿中国森林管理局管内林業大学校等協議会構成員

(担い手育成機関)

ふくい林業カレッジ

みえ森林・林業アカデミー

滋賀もりづくりアカデミー

京都府立林業大学校

兵庫県立森林大学校

奈良県フォレスターアカデミー

和歌山県農林大学校

にちなん中国山地林業アカデミー

島根県立農林大学校

広島県立庄原実業高等学校

(自治体)

福井県 農林水産部 県産材活用課

滋賀県 琵琶湖環境部 森林政策課

京都府 農林水産部 林業振興課

奈良県 水循環・森林・景観環境部 森と人の共生推進室

和歌山県 農林水産部 森林・林業局 林業振興課

鳥取県 森林・林業振興局 林政企画課

島根県 農林水産部 林業課

(国有林)

近畿中国森林管理局

参考

林野庁からの情報提供

緑の青年就業準備給付金事業 【令和2年度 予算額 376,139 (272,376) 千円】

- 平成25年度に、林業就業希望者の裾野拡大を図るとともに、林業事業体等の経営活性化を図る観点から、林業への就業に向け、林業大学校等において必要な知識等を習得する青年に対して給付金を支給する「緑の青年就業準備給付金事業」を創設。

■緑の青年就業準備給付金事業の仕組み

- 研修機関（林業大学校等）の要件
 - 1 研修期間が概ね1年かつ概ね年間1,200時間以上であり
 - 2 都道府県が適切と認めた研修機関等
- 給付対象者の要件
 - 1 林業に就業し、将来的にはその中核を担う強い意欲を有していること
 - 2 就業予定時の年齢が原則45歳未満
(就職氷河期世代に属する者のうち長期無業者等に限っては年齢を問わない)
- 給付対象者の義務
 - 1 研修修了後1年以内に林業分野へ就業すること
 - 2 林業分野への就業を給付期間の1.5倍又は2年間のいずれか長い期間継続すること
- 給付額

研修機関が行う取組に応じて年間最大155万円または年間最大125万円
(実際の研修月数に応じて支給・最長2年間)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	給付金事業 都道府県認定研修機関	
事業実施都道府県	群馬	→	→	→	→	→	→	→	群馬県立農林大学校	
	長野	→	→	→	→	→	→	→	長野県林業大学校	
	岐阜	→	→	→	→	→	→	→	岐阜県立森林文化アカデミー	
	静岡	→	→	→	→	→	→	→	静岡県立農林大学校	
	京都	→	→	→	→	→	→	→	京都府立林業大学校	
	島根	→	→	→	→	→	→	→	島根県立農林大学校	
	新潟	→	→	→	→	→	→	→	日本自然環境専門学校	
	石川	→	/	/	/	/	/	/	/	石川県農林総合研究センター林業試験場
	熊本	→	→	→	→	→	→	→	くまもと林業大学校	
		宮崎	→	→	→	→	→	→	→	みやざき林業大学校
			秋田	→	→	→	→	→	→	秋田県林業研究研修センター (秋田林業大学校)
			高知	→	→	→	→	→	→	高知県立林業大学校
				山形	→	→	→	→	→	山形県立農林大学校
				福井	→	→	→	→	→	ふくい林業カレッジ
				徳島	→	→	→	→	→	とくしま林業アカデミー
				大分	→	→	→	→	→	(公財) 森林ネットおおいた (おおいた林業アカデミー)
					岩手	→	→	→	→	岩手県林業技術センター (いわて林業アカデミー)
					兵庫	→	→	→	→	兵庫県立森林大学校
					和歌山	→	→	→	→	和歌山県農林大学校
								鳥取	→	にちなん中国山地林業アカデミー
							北海道	→	北海道立北の森づくり専門学院	
合計	9府県	10府県	11府県	15府県	18府県	18府県	19府県	20道府県		

「緑の人づくり」総合支援対策（拡充）

【令和3年度予算概算要求額 5,313,592（4,685,649）千円】

<対策のポイント>

新規就業者の確保・育成や林業への就業前の青年に対する給付金の支給を行うとともに、就業への関心を高めるためのスマート林業の技術の普及啓発、森林経営管理制度の運用に当たって市町村への指導・助言を行える技術者の養成等に取り組みます。

<事業目標>

- 新規就業者の確保（1,200人〔令和3年度〕）
- 林業労働災害死傷者数（平成29年比5%以上減少〔令和4年まで〕）
- 林業労働災害死亡者数（平成29年比15%以上減少〔令和4年まで〕）
- 森林経営管理制度の支援を行える技術者の育成（1,000人〔令和5年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

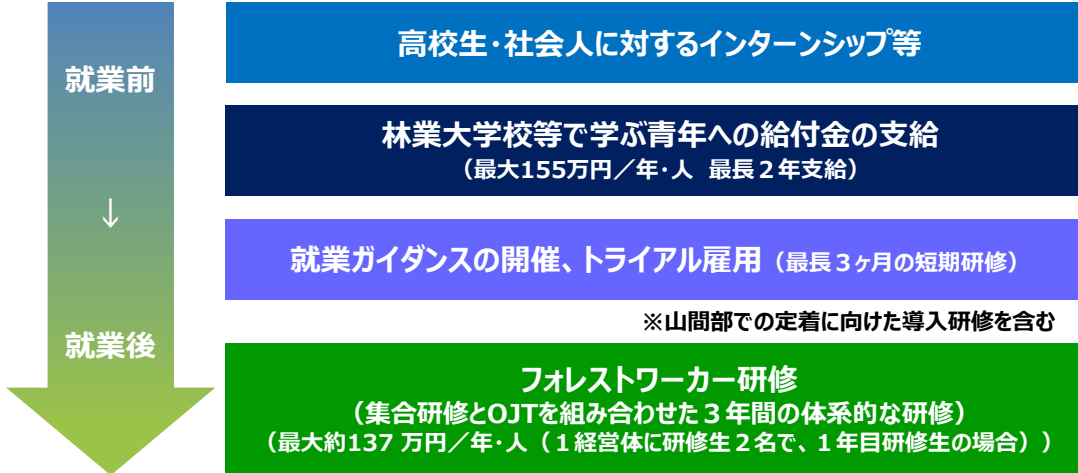
1. 森林・林業新規就業支援対策 5,272,387（4,644,444）千円

- ① 「緑の雇用」新規就業者育成推進事業 4,628,000（4,230,000）千円
就業ガイダンス及び林業作業士（フォレストワーカー）研修や造林作業者の育成等に必要経費を支援します。
- ② 緑の青年就業準備給付金事業 560,000（376,139）千円
林業大学校等において、林業への就業に必要な知識・技術等の習得を促進し、将来的に林業経営をも担い得る有望な人材として期待される青年を支援します。
- ③ 未来の林業を支える林業後継者養成事業 84,387（38,305）千円
スマート林業をはじめとした技術・知識の普及啓発活動、社会人等が先進的技術を学ぶインターンシップの実施、地域の中核となる女性の活動等を支援します。

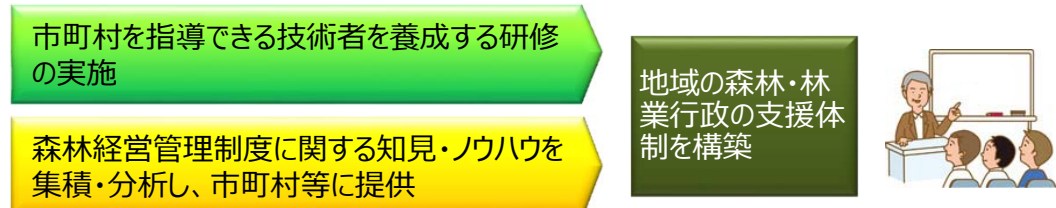
2. 森林経営管理制度推進事業 41,205（41,205）千円

森林経営管理制度を円滑に運用できるよう、市町村の森林・林業担当職員を支援する技術者を養成するとともに、全国の知見・ノウハウを集積・分析し、市町村等に提供します。

1. 森林・林業への新規就業の支援

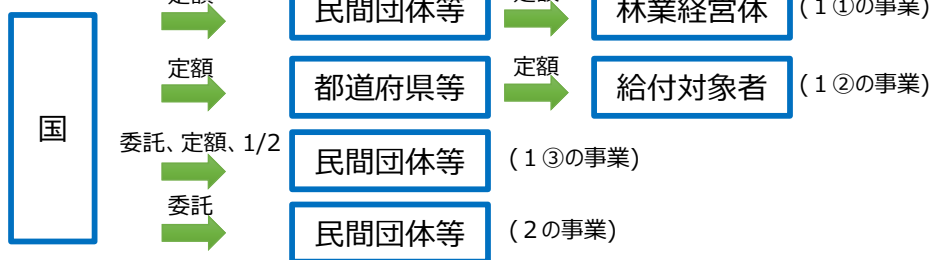


2. 森林経営管理制度推進事業



【お問い合わせ先】（1の事業）林野庁経営課（03-3502-8048）
（2の事業）林野庁森林利用課（03-6744-2126）

<事業の流れ>



未来の林業を支える林業後継者養成事業

○ スマート林業教育用副教材の作成

全国の林業大学の生徒等が、スマート林業を学ぶために、授業や自主学習で使用することができるオンライン学習ツールを作成

【背景と目的】

1. 我が国の森林資源を活用し、林業の成長産業化に向けた取組を着実に推進するためには、人口減少や少子高齢化が一層進む可能性がある中で、低い労働生産性や高い労働災害率といった林業特有の課題に対処していく必要がある。
2. 林野庁では、これらの課題を解決するために、地理空間情報やICT等の先端技術を駆使し、生産性や安全性の飛躍的な向上、需要に応じた高度な木材生産を可能とする「スマート林業」を推進。
3. ICT等の活用による先進的な取組は各地で急速に進歩しており、未来の林業を担う全国の学生へ、それらを先端技術を学ぶ手段を提供することで、林業への就業意欲の向上や就業後の技術者としての能力向上を期待。

【カリキュラムイメージ】

- スマート林業概論
- 技術紹介
 - ・ 森林資源と森林境界の管理（レーザ計測の活用）
 - ・ 伐採作業・造林作業の省力化（自動機械、アシストスーツなど）
 - ・ 新素材の開発（改質リグニン、セルロースナノファイバーなど）



林業大学校等の教職員を対象とした研修

◆ 第4四半期(1月下旬)に実施予定(5日間程度) ※場所:群馬県沼田市森林技術総合研修所林業機械化センター

農林水産業・食品産業における労働安全強化対策推進事業のうち 安全伐倒技術等普及対策事業

【令和2年度予算額 20百万円】

<対策のポイント>


労働安全を指導する立場にある地方公共団体職員や林業大学校等職員等を対象とした、安全な伐倒技術の習得のための研修プログラム及び指導マニュアルを作成し、伐倒シミュレーションツール等による実践も含めたプログラム等により、安全伐倒技術指導者を育成するための研修を実施します。

<事業の内容>


- 1. 研修マニュアル等作成**
 - 安全な伐倒手法等の習得のための伐倒技術にかかる研修プログラムや指導マニュアルを作成
- 2. 安全伐倒技術指導者を育成するための研修の実施**
 - 林地で実際に安全に配慮した伐倒技術の習得
 - 伐倒練習機等のシミュレーションツールを使って、様々な条件下で、安全に伐倒できる技術、伐倒方法の習得

<事業イメージ>

伐木作業



立木の伐木中に伐倒木が当たる

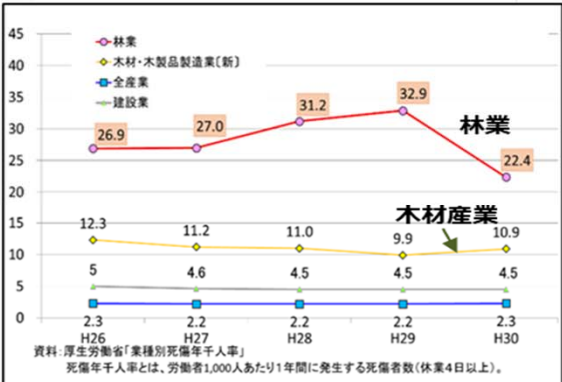


雑木を伐採中、木が裂けて折れ、折れた木の下敷きとなる

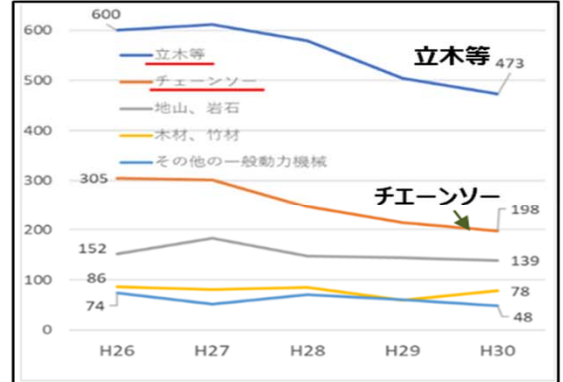
<林業・木材産業をめぐる情勢(労働安全関連)>

- 林業・木材産業の死傷年千人率は全産業と比較して高い状況
- 死傷災害はチェーンソー及び立木に起因するものが多い

業種別死傷年千人率の推移




災害の起因物別(林業)



チェーンソー等による安全な伐倒技術の習得・普及が課題

研修マニュアル等作成



★安全な伐倒手法等の習得のための伐倒技術にかかる研修プログラムや指導マニュアルを作成

安全伐倒技術指導者の育成研修の実施



★作成した安全伐倒マニュアル等に基づいて、机上講義により安全な伐倒技術を習得



★伐倒練習機等のシミュレーションツールを使って、様々な条件下で、安全に伐倒できる技術、伐倒方法の習得



○ 林業における死傷災害の大半は、伐倒作業に関連するものが中心であることから、安全伐倒技術等を都道府県や林業大学校等の指導的立場にある者に習得させることにより、林業作業員への適切な安全指導が行える体制を構築することにより、伐倒作業による労働災害を減少させていくことが重要。

<事業の流れ>



[お問い合わせ先] 林野庁研究指導課 (03-3502-5721)

林業大学校指導者が受講対象となっている森林技術総合研修所の研修について（令和2年度計画及び令和元年度実績）

研修の名称	主な内容	対象者	R2 定員	実施時期	日数	実施場所	人、日	
							R元実績	うち 林大
高性能林業機械 (林業大学校指導者)	高性能林業機械の安全かつ効率的な作業方法 高性能林業機械作業に係る指導のポイント 林業大学校等の取組事例紹介及び意見交換	林業大学校指導者等	9	8/17 ~ 8/21	5	林業機械化 センター	6	1
高性能林業機械 (安全指導・前期) 1	車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生 特別教育(学科・実技) 高性能林業機械の作業におけるリスクアセスメント	地方公共団体職員、林業 大学校指導者及び森林 管理局・署等職員	9	9/28 ~ 10/2	5	林業機械化 センター	17	2
高性能林業機械 (安全指導・前期) 2	車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生 特別教育(学科・実技) 高性能林業機械の作業におけるリスクアセスメント	同上	9	10/19 ~ 10/23	5	林業機械化 センター		
高性能林業機械 (安全指導・後期)	車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生 特別教育(学科) 車両系木材伐出機械等の法整備の背景・経緯 車両系木材伐出機械等作業の普及と安全推進について	同上	18	1/21 ~ 1/22	2	林業機械化 センター		
集材架線	機械集材装置の運転の業務に係る安全衛生特別教育 エンドレスタイラー式の架設・撤去作業の実践 ワイヤロープの取扱い 集材架線の設計	地方公共団体職員、森林 管理局・署等職員、森林 総合監理士、林業大学校 指導者等	15	5/26 ~ 6/5 新型コロナウイルス感染 症の影響により中止	11	林業機械化 センター	9	1
研修企画運営実務 (先進事例学習)	林業大学校等の企画運営 技術者育成の教育企画運営手法 学生募集・就職等学生指導実務	地方公共団体職員、林野 庁・森林管理局・署等職 員、林業大学校・林業高 校の職員等	50	10/26 ~ 10/30	5	本所	12	3

※高性能林業機械（安全指導）は、前期・後期をセットで受講。なお、前期については1又は2のいずれかの日程を選択可能。